

2025 年 11 月 あすならホーム桜井 運営推進会議 議事録（グループホーム B）

開催日時: 2025 年 11 月 20 日（金） 10:10~10:20

会議メンバー（参加者）：

- 利用者・家族：0 名
- 地域代表(住民)：2 名
- 市・包括職員：1 名
- 職員：2 名

1. 施設の状況

(1) サービス・入居・利用状況（711 月現在）

2025年度6月決算(業種別 介護保険登録・利用者数)

1. あすなら安心ケアシステム 登録人数

	ケアプラン				定期巡回・随時対応							
	実績	前年	差	前年比%	実績	前年	差	前年比%				
あすならホーム桜井	18	12	6	150.0	-	3	-3	-				

2. 小規模多機能型居宅介護

(単位: 人)

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	26	31	-5	83.9	1	10	7	5	2	1	2.0	-

3. 看護小規模多機能型居宅介護

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	24	20	4	120.0		4	3	8	6	3	3.0	-

4. グループホーム

(単位: 人)

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	18	19	-1	94.7	-	2	5	3	4	4	3.2	-
あすならホーム桜井(B)	18	19	-1	94.7	-	6	5	3	1	3	2.4	-

- グループホーム (B): 定員の 18 名現在満床になっています。5 月時点でも満床でした。

(3) 利用者の様子（2025 年 9 月～11 月）

- 全体的な傾向:
- 9 月: 利用者さんの体調は、比較的落ち着いていました。一部の利用者さんに、風邪の症状や痰の絡みが見られたため、注意深く様子を観察していました。利用者さんたちが楽しめるようなイベントの企画も行っていました。
- 10 月: お出かけ企画で馬見丘陵公園に行きました。1 名ターミナルケアで看取りまで関わる事ができました。急な状態変化ではあったものの、ご家族の方も感謝していただきました。
- 11 月: 企画を行い、季節を感じていただいた。

2. 取り組み

(1) 施設内外での取り組み・工夫

- おたよりは別紙参照。
- Instagram を活用した広報活動を継続しており、職員の積極的な投稿によりフォロワーも約 700 名に増加しています。投稿予約機能なども活用し、施設の雰囲気や活動内容を発信しています。
- 「ほっとかない。断らない。すぐ動く。」を実践し、登録に繋がっています。
- 地域貢献活動としてサロンスペースで月 6 回ランチ会を実施しており（5 と 0 の付く日）、平均 24 名、0 の付く日も 10 名ほどの利用があります。
- 地域のフラワーショップによる移動販売も月 2 回実施されており、利用者や職員が花を購入しています。

(2) 行事、その他

- 2025 年秋のあすなら学習会は 11 月 20 日（金）に開催される。

- 10 月着任施設長のあいさつ。
- 11 月に地域合同の防災訓練を報告。

(3) 事業

- 「ほっとかない。断らない。すぐ動く。」の実践で登録へ繋がっています。
- 地域貢献活動としてサロンスペースで月 6 回ランチ会を実施（5 と 0 のつく日）、平均 24 名ほどの利用があり、0 のつく日も 10 名程の利用。
- 地域のフラワーショップが移動販売月 2 回実施してくれています。

(4) 広報活動

- 相談を受けた利用者、家族様への後追いは継続し利用者増に向けての取り組みを継続しています。
- 地域に根差した運営を進めていきたいと考えており、困っている方が居られれば紹介をお願いしています。

(5) 事故（9、10、11 月）

- 数件の報告がされる。

3. 身体拘束等の適正化について

- 年間計画に基づき、虐待防止・身体拘束防止委員会等を開催しています。
- 全体研修としても防止に関する学習を行い、毎月の入居者の行動を制限するような事例の有無を報告しています。

4. 本日出席の家族・地域の方との意見交換記録

本日は、介護、災害対策、社会情勢に関して、活発な意見交換が行われました。

栗殿区は新しく引っ越してくる人が増えている。人口が増えている。少子高齢化は進む。

地域包括も区長や、あすならと協力しながら地域を支えていくことが確認された。

まとめ：

本日の意見交換を通して、災害対策、介護サービス、地域防災活動など、様々な課題が明らかになりました。今後、これらの課題解決に向けて、地域住民の皆様と連携しながら、具体的な対策を検討・実施していくことが重要であると認識いたしました。引き続き、皆様からのご意見をお待ちしております。

5. 次回の予定

- 次回会議日程: 1 月 16 日（金）10：00～11:00 場所：あすならホーム桜井 サロン。
- 2025 年度計画: 11 月 21 日、2026 年 1 月 16 日、3 月 20 日。

開催日時 2025年9月19日（金）10：10～10：20

会議メンバー（参加者）：

- ・利用者・家族：0名
- ・地域代表(住民)：2名
- ・市・包括職員：1名
- ・職員：2名

1、施設の状況

（1）サービス・入居・利用状況（9月現在）

2025年度7月決算（業種別 介護保険登録・利用者数）

1. あすなら安心ケアシステム 登録人数

	ケアプラン				定期巡回・随時対応							
	実績	前年	差	前年比%	実績	前年	差	前年比%				
あすならホーム桜井	19	12	7	158.3	-	3	-3	-				

2. 小規模多機能型居宅介護

（単位：人）

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	28	29	-1	96.6	1	10	9	6	1	1	2.0	-

3. 看護小規模多機能型居宅介護

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	20	29	-9	69.0		2	3	5	7	3	3.3	-

4. グループホーム

（単位：人）

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	18	18	-	100.0	-	2	5	3	4	4	3.2	-
あすならホーム桜井(B)	18	18	-	100.0	-	6	5	3	1	3	2.4	-

- ・グループホーム…定員の18名で現在満床になっています。

（2）利用者の様子（2025年7～8月）

- ・全体的な傾向
- ・7月：食事形態などを利用者さんにあわせて検討。七夕に合わせてレクリエーションの企画を行いました。
- ・8月：家族さんと一緒に食事会と夏祭りを企画、お孫さん（ひ孫さん）も含めて賑わいました。

（3）施設内外での取り組み

- ①おたよりは別紙参照。
- ②インスタグラム 706件（9/18現在）
- ③「ほっとかない。断らない。すぐ動く。」の実践で登録へ繋げていきます。
- ④地域貢献活動 サロンスペースで月6回ランチ会の実施。（5と0のつく日）
 - ・開催平均24名ほどの利用があり、0のつく日も10名程の利用があります。
 - ・地域のフラワーショップが移動花販売月2回実施してくれています。
 - ・朗読劇 流しそうめん はちみつ絞り体験なども行いました。
- ⑤桜井市認知症月間の取り組みへの協力と企画への利用者の参加を行いました。
- ⑥9/1に防災訓練として地震災害を想定した訓練を行いました。

（4）広報活動

- ①相談を受けた利用者、家族様への後追いは継続し利用者増に向けての取り組みを継続しています。

(5) 事故 (7.8 月)

①重大事故…なし

②その他事故 (数字は事業所全体)

		転倒 (前方)	転倒 (側方)	転倒 (後方)	ずり落ち	転落・落下	配薬ミス	その他
6月	4	2	0	0	1	0	1	0
7月	8	0	3	0	3	1	1	0
8月	6	1	0	1	3	0	1	0

(6) 身体拘束等の適正化について

①年間計画で虐待防止・身体拘束防止委員会等を開催、又、全体研修としても防止に関する学習、毎月の入居者の行動を制限するような事例の有無を報告しています。

(7) 本日出席の家族・地域の方との意見交換記録

①今回は災害にどのように対応するのかを、介護施設だけでなく栗殿地区全体での問題意識を参加者で活発な意見交換を行いました。日ごろから地域の方々との交流や栗殿地区の訓練への参加をするなどの意見が出されました。

(8) 次回の予定 (奇数月の原則第3金曜日) と 2025 年度予定

①次回会議日程：11 月 21 日 (金) 10:00~11:00 場所：あすならホーム桜井 サロン

②2025 年度計画 2026 年 1 月 16 日、3 月 20 日

2025 年 7 月 あすならホーム桜井 運営推進会議 議事録（グループホーム B）

開催日時: 2025 年 7 月 18 日（金） 10:10~10:20

会議メンバー（参加者）：

- 利用者・家族：1 名
- 地域代表(住民)：1 名
- 市・包括職員：1 名
- 職員：1 名

1. 施設の状況

(1) サービス・入居・利用状況（7 月現在）

2025年度6月決算(業種別 介護保険登録・利用者数)

1. あすなら安心ケアシステム 登録人数

	ケアプラン				定期巡回・随時対応							
	実績	前年	差	前年比%	実績	前年	差	前年比%				
あすならホーム桜井	18	12	6	150.0	-	3	-3	-				

2. 小規模多機能型居宅介護

(単位:人)

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	26	31	-5	83.9	1	10	7	5	2	1	2.0	-

3. 看護小規模多機能型居宅介護

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	24	20	4	120.0		4	3	8	6	3	3.0	-

4. グループホーム

(単位:人)

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	18	19	-1	94.7	-	2	5	3	4	4	3.2	-
あすならホーム桜井(B)	18	19	-1	94.7	-	6	5	3	1	3	2.4	-

- グループホーム（B）: 定員の 18 名現在満床になっています。5 月時点でも満床でした。

(3) 利用者の様子（2025 年 3 月～7 月）

- 全体的な傾向:
 - 5 月: 利用者さんの体調は、比較的落ち着いていました。一部の利用者さんに、風邪の症状や痰の絡みが見られたため、注意深く様子を観察していました。利用者さんたちが楽しめるようなイベントの企画も行っていました。
 - 6 月: 暑さの影響で、食欲が落ちたり、脱水症状になったりする利用者さんが増えるのではないかと警戒していました。身体介護を行うにあたり介護者の負担を減らす方法を検討していました。
 - 7 月(15 日まで): 食事形態などを利用者さんにあわせて検討。レクリエーションの企画を予定しています。
- 具体的な内容:
 - 食事を通じたイベント（天ぷら企画、居酒屋企画など）を積極的に実施し、利用者の楽しみと QOL 向上に努めています。特に出前企画として、料理会社の職員が施設内で天ぷらやお寿司を調理し提供する活動が好評です。
 - 夏場は全員での外出が難しいものの、個別の外食や花植えなども継続しています。

2. 取り組み

(1) 施設内外での取り組み・工夫

- おたよりは別紙参照。
- Instagram を活用した広報活動を継続しており、職員の積極的な投稿によりフォロワーも約 700 名に増加しています。投稿予約機能なども活用し、施設の雰囲気や活動内容を発信しています。

- 「ほっとかない。断らない。すぐ動く。」を実践し、登録に繋がっています。
- 地域貢献活動としてサロンスペースで月 6 回ランチ会を実施しており（5 と 0 の付く日）、平均 24 名、0 の付く日も 10 名ほどの利用があります。
- 地域のフラワーショップによる移動販売も月 2 回実施されており、利用者や職員が花を購入しています。

(2) 感染症予防

- 厚生労働省の通達により、高齢者施設での感染対策を継続して実施しています。
 - 衛生管理及び健康管理の徹底。
 - 換気、3 密の防止。
 - 感染に関する報・連・相を徹底（コロナウイルス対策、インフルエンザ対策、ノロウイルス対策）。
 - 備品確認、対応訓練も実施しています。
- 新型コロナウイルスは依然として流行しており、事務長や一部職員の家族にも感染者が出ていますが、利用者への広がりはありません。主な感染経路は病院関係と考えられています。
- 現在、コロナウイルスに対する特效薬はありませんが、薬での対応は可能です。感染力は依然として強く、発熱症状が出る 2 日程度前から感染力を持つ傾向があり、感染が引きにくい特徴があります。
- 特に夏場の感染対策（防護服着用など）は暑さのため困難であり、熱中症のリスクもあるため、手洗いや消毒を徹底しつつ、過度な予防ではない一定の予防を心がけています。
- 施設ではエアコンを常時稼働させ、室温は 27～28 度程度に設定し、換気も常に行うことで、一定の快適な環境を維持しています。
- 熱中症・脱水症への注意喚起を徹底しており、職員にはウォーターサーバーの利用や水筒持参を奨励するなど、水分補給の重要性を促しています。高齢者はクーラーを嫌がる傾向もあるため、個別の配慮も必要です。

(3) 行事、その他

- 2025 年春のあすなら学習会は 6 月 26 日（木）に開催されました。
- 理事長が交代しました。東浦秀己氏が新理事長に就任しました。
- 11 月に地域合同の防災訓練を計画しています。メイン会場はアルボールの駐車場で、複数の町内会が参加し、各町内会長が点呼を行います。訓練後には、市役所前のシャクトル公園でイベントが開催され、今年は簡易ベッド作成ではなく、車椅子での実体験訓練を実施します。これは、災害時に実際の介助の困難さを理解することを目的としています。

(4) 事業

- 「ほっとかない。断らない。すぐ動く。」の実践で登録へ繋がっています。
- 地域貢献活動としてサロンスペースで月 6 回ランチ会を実施（5 と 0 の付く日）、平均 24 名ほどの利用があり、0 のつく日も 10 名程の利用。
- 地域のフラワーショップが移動販売月 2 回実施してくれています。
- 米の安定供給に向けた契約を地域で行い、確保できています。

(5) 広報活動

- 相談を受けた利用者、家族様への後追いは継続し利用者増に向けての取り組みを継続しています。
- 地域に根差した運営を進めていきたいと考えており、困っている方が居られれば紹介をお願いしています。

(6) 事故 (6.7 月)

- その他事故: 4 月から 7 月にかけて、転倒 (前方、側方、後方)、ずり落ち、転落・落下、配薬ミスなどの報告があります。
- 法人の考え方として、前方への転倒は人の動きがある限り避けられない部分とし、回復や通院で対応できることを目指しています。特に注力しているのは、**大腿骨骨折に繋がりがやすい側方と後方への転倒防止**です。上半身の筋力強化や、崩れ落ちるような倒れ方を訓練するお辞儀体操などを取り入れています。
- 配薬ミスについては、マニュアルの徹底と繰り返し是正を行っています。

3. 身体拘束等の適正化について

- 年間計画に基づき、虐待防止・身体拘束防止委員会等を開催しています。
- 全体研修としても防止に関する学習を行い、毎月の入居者の行動を制限するような事例の有無を報告しています。

4. 本日出席の家族・地域の方との意見交換記録

本日は、介護、災害対策、社会情勢に関して、活発な意見交換が行われました。

テーマ 1: 災害対策の強化について

- **参加者の声:**
 - 過去の水害経験から、地域全体での対策の必要性を痛感している。
 - 避難経路の確保、感染症対策、要支援者の把握など、課題は山積している。
 - 個人情報保護の壁があり、災害時の情報共有が難しい。
 - 水不足による消火活動への影響も懸念される。
- **意見交換:**
 - 災害時の情報共有については、プライバシーに配慮しつつ、必要最低限の情報を共有できる仕組み作りが必要。
 - 地域住民が参加しやすい防災訓練の実施が重要。特に、高齢者や障がい者の介助方法を体験できる訓練を定期的に行うべき。
 - 水不足対策として、雨水利用や節水意識の啓発も検討すべき。
- **今後の検討課題:**
 - 災害時の情報共有に関する法的な制約を整理し、関係機関との連携を強化する。
 - 地域住民向けの防災訓練の内容を充実させ、参加率向上を目指す。
 - 水不足対策に関する情報提供と、具体的な対策の検討を行う。

テーマ 2: 介護サービスの現状と課題について

- **参加者の声:**
 - 高齢者が夏の暑さに慣れていないため、体調管理が難しい。
 - 介護現場の人手不足が深刻化している。
 - 地域住民が介護現場を体験する機会が少ない。
 - 介護・医療業界全体が将来的に厳しくなるのではないかと不安がある。
- **意見交換:**
 - 高齢者の体調管理については、室温だけでなく、水分補給や食事にも配慮する必要がある。

- 介護人材の確保に向けて、給与や労働環境の改善だけでなく、介護の魅力を発信する取り組みも重要。
- 地域住民向けの介護体験イベントを定期的で開催し、介護への理解を深める。
- 介護保険制度の改正など、今後の社会情勢の変化に対応できるよう、情報収集を密に行う。
- **今後の検討課題：**
 - 高齢者の体調管理に関する情報提供を強化する。
 - 介護人材の確保に向けた具体的な施策を検討する。
 - 地域住民向けの介護体験イベントの企画・実施を行う。
 - 介護保険制度の動向を注視し、必要に応じて対応策を検討する。

テーマ 3：地域防災活動への参加促進について

- **参加者の声：**
 - 地域防災活動への参加者は高齢者が中心で、若い世代の参加が少ない。
 - 若い世代は、仕事や子育てで忙しく、地域活動に参加する時間がない。
 - 地域防災活動の意義や重要性が十分に理解されていない。
- **意見交換：**
 - 若い世代が参加しやすいように、イベントの内容や時間帯を工夫する必要がある。
 - 子供向けのイベントや、美味しい食べ物を提供するなど、魅力的な企画を検討する。
 - SNS や広報誌などを活用し、地域防災活動の情報を積極的に発信する。
 - 町内会だけでなく、企業や学校など、様々な団体との連携を強化する。
- **今後の検討課題：**
 - 若い世代のニーズを把握するためのアンケート調査を行う。
 - 地域防災活動の情報を発信する媒体を充実させる。
 - 企業や学校などとの連携に向けた協議を行う。

まとめ：

本日の意見交換を通して、災害対策、介護サービス、地域防災活動など、様々な課題が明らかになりました。今後、これらの課題解決に向けて、地域住民の皆様と連携しながら、具体的な対策を検討・実施していくことが重要であると認識いたしました。引き続き、皆様からのご意見をお待ちしております。

5. 次回の予定

- 次回会議日程: 9月19日（金）10：00～11:00 場所：あすならホーム桜井 サロン.
- 2025年度計画: 11月21日、2026年1月16日、3月20日.

2025 年 5 月 あすならホーム桜井 運営推進会議 議事録 (GHB)

開催日時: 2025 年 5 月 16 日 (金) 10:10~10:20

会議メンバー (参加者)

利用者・家族: 1 名 地域代表(住民): 1 名

市・包括職員: 1 名 職員: 5 名

1. 施設の状況

(1) サービス・入居・利用状況 (5 月現在)

サービス種別	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
グループホーム (B)	18	19	-1	94.7		6	5	3	1	3	2.4	

- グループホーム (B): 定員の 18 名現在満床になっています。入居者募集中です。

(3) 利用者の様子(2025 年 3 月~5 月)

- 全体的な傾向:
 - 体調不良の蔓延: 風邪や発熱などの体調不良が利用者・職員ともに見られ、感染症対策の徹底が課題となっている。
 - イベントの実施と効果: 天ぷら企画や居酒屋企画など、食事を通じたイベントを実施し、利用者の楽しみと QOL の向上に努めている。
 - 歩行能力の低下と転倒リスクへの懸念退院後に歩行能力が低下し、転倒のリスクが高い利用者があり、転倒予防策の強化が必要。
- 利用者の精神状態への配慮が自宅や家族の事を心配される思いが強い利用者に対するケアを試行錯誤している。
- 具体的な内容:
 - 風邪・発熱症状のある利用者への感染症対策と状態観察。
 - 利用者の思いを聞いたイベント企画と実施。
 - 転倒リスクのある利用者への安全確保とケア方法の検討。

4. 取り組み

(1) 施設内外での取り組み・工夫

- おたより別紙参照
- Instagram

(2) 感染症予防

- 厚労省の通達で高齢者施設での感染対策を引き続き実施するよう指示あり。
 - 衛生管理及び健康管理の徹底
 - 換気、3 密の防止
 - 感染に関する報・連・相
 - コロナウイルス対策、インフルエンザ対策、ノロウイルス対策
 - 衛生管理及び健康管理の徹底
 - 備品確認
 - 対応訓練

(3) 行事、その他

- 25 年春のあすなら学習会を開催します。 6 月 26 日(木) 10:30-12:00

5. 本日出席して頂いている家族さん・地域の方からの意見（要約）

- **入院による影響と課題:** 入院によって利用者の状態が変化し、施設でのケアとの連続性に課題が生じる。特に長期入院や、コロナ禍での面会制限などは、利用者や家族、施設側の負担を増大させる。
- **病院と施設の間隔的なサービスの必要性:** 治療を終えた後、すぐに自宅に戻ることが難しい利用者のために、リハビリなどを提供できる間隔的なサービス（小規模施設など）の必要性が指摘されている。
- **地域との連携:** 利用者が地域活動に参加できるよう、地域との連携を強化することの重要性が述べられている。地域での顔見知りを作ること、緊急時のサポート体制を構築できる可能性も示唆されている。
- **個々のニーズへの対応:** 利用者の性格や生活習慣を考慮し、画一的なケアではなく、個別のニーズに合わせた支援を提供することの重要性が強調されている。
- **介護サービスの利用に対する考え方:** 介護サービスを最後まで利用しないことが理想という意見がある一方で、入口を軽くし、必要に応じて利用できるような柔軟な体制が求められている。

6. 次回の予定

- 次回会議日程: 7月18日(金) 10:00~11:00 場所: あすならホーム桜井 サロン
- 2025年度計画
 - 7月18日
 - 9月19日
 - 11月21日
 - 2026年1月16日
 - 3月20日